

会報

2009(平成21年).3.17

HP: <http://www3.ocn.ne.jp/~koryu/>

Tel:03-3222-4190 Fax:03-3222-4199

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-9 第2太陽ビル301

発行人: 生井栄一



卓球で友好交流



出版した本を見る庭野校長と谷口委員長

尊敬する庭野正和校長

庭野校長先生、荒川副校長をはじめとする貴校先生方のご協力と熱烈なご接待を賜り、中国小作家協会友好交流団は順調に貴校を訪問することができました。本当にありがとうございました。

貴校では、小作家たちは本当に楽しみました。この学校は本当にきれいですね。校長先生は気品のある方ですね。生徒たちも礼儀正しいですねなどと、団員たちは話しました。この学校の生徒になりたい、と言った団員もいます。子供たちは校長先生との写真を記念として大事にしています。

中国では今現在、旧正月の休みです。私たちが持って行った赤い紐結は教室の廊下に吊るされていることを思って、先生の皆様と一緒に新年を迎える感じがして、暖かく感じます。再び御礼申し上げます。中国にいらっしゃることを期待しています。

中国 北京 中国小作家協会副会長・秘書長 金本

中国小作家友好交流団35名

「この学校の生徒になりたい」

荏原平塚中学校を訪問 生徒たちと活発に交流



中国小作家友好交流団(金本団長・小作家協会秘書長)一行 35名(内学生 26名)は、1月19日午後、東京都品川区立荏原平塚中学校(庭野正和校長)を訪問しました。訪問にあたっては東京教組(谷口滋委員長)にお世話をいただきました。

中国宋慶齡基金会と友好関係にある「中国少年報」という青少年向けの新聞社があります。この新聞社には毎年少年記者団を組んで海外交流を行うプロジェクトがあります。活動は地元の青少年と交流し、地元の新聞社を見学することを中心としています。小作家とは文字通り中国の小中学生の作家で、作文だけでなく本格的な小説も刊行しています。

荏原平塚中学校は、2010年から小中一貫校となるため、その準備を進めています。交流団は授業参観、生徒会役員との懇談を行い、子どもたちは活発な交流を行いました。授業参観では、美術室や理科室を興味深く参観し、卓球に飛び入りしたり、中国の歌を披露したりして、中学生との交流を行いました。生徒会との交流では、相互に放課後の生活を中心とした質疑応答のやりとり後、小グループに分かれ通訳抜きで懇談を行いました。交流団の生徒たちは、中国の歌やバイオリン、ダンスなどの一芸を披露し、和やかな雰囲気を出しました。カタコトの英語を交えたりして、子どもや先生方と微笑ましい午後のひとときを過ごしました。その後も時間を惜しむように子どもたち同士の交流は続きました。

帰国後、次のような手紙が金本団長から校長先生に届きました。

四川教育国際交流協会より

本協会との交流を希望

四川教育国際教育協会から、以下のような交流希望の文書が届きました。四川教育国際教育協会には、昨年の四川大地震に対し、本協会はいち早く見舞い電報を送るとともに、第14次訪中団から救援金(日本円100万円)を贈りました。協会では、現在どのような交流が望ましいか検討中です。

日本中国国際教育交流協会 理事長 生井栄一 様

貴協会2009年1月の会報15号を拝読いたしました。私たちは、中国教育国際交流協会と四川省教育庁の直接的な指導のもと、全省教育界が外国との交流と提携を行うにあたり、法人の資格を有した社会团体です。成立以来20カ国以上の国や地区、100以上の学校や教育機関と提携を結んできました。

私たちは、日本の交流活動に取り組めるよう長く計画してきました。日本の教育交流機関と長期的で安定した提携を結ぶことを願っています。私たちは日本中国国際教育交流協会と教育国際交流において提携を深められることを強く望んでいます。

具体的な事柄に関して、貴協会から私たちにご連絡いただけましたら幸いです。吉報をお待ちしております。

☆☆ 協 会 ☆ 短 ☆ 信 ☆☆☆

2009年

- 1月20日 第3回『公益法人制度検討委員会』
- 3月6日 公益法人移行折衝(文科省)
- 3月10日 第4回常務理事会
- 3月17日 第38回理事会、第34回評議員会

あらたな歴史と教育との出会いを！

・・・安東自由大学は9月6、7、8日の3日間



安東市仮面博物館

この地のことをいうのでしょうか。遠くは、豊臣秀吉の朝鮮侵略の記録を今に残した当時の宰相柳成龍が書きとめた歴史文書、韓国 1000 ウォン札に描かれている古今随一の儒学者といわれる李退溪の開いた書院。彼らの活躍した木像建築群が今もなお、500・600年前そのままに私たちを迎えてくれます。近代では、義士たちの足跡など、人も建築も東洋の英知をここ安東に見ることができます。東アジアの人間関係学に興味ある者にとってはまたとない絶好の機会です。

また、本協会の特徴を生かして、子どもや教職員との教育交流など、未来の世界を築く子どものために、共生の教育を目指す企画が計画されて



安東礼節学校で体験学習（第二期）

います。第三期安東自由大学は下記の要領で参加募集を行います。既に第一期、第二期に参加された方々からは大きな反響をいただいております。ふるってご参加ください。

募集要項

1. 参加期間 2009年9月5日（土）～9月11日（金）
[前泊1泊+3泊（安東）+2泊（ソウル）]
内、安東自由大学は6、7、8の3日間
2. 訪問地 韓国安東市、ソウル（羽田発着 JAL 便）
3. 参加人数 15名程度
4. 参加内容 （財）日本中国国際教育交流協会協賛第3期安東自由大学セミナーへの参加。教育交流、文化・歴史講座、韓国史跡などの視察
5. 目的 ①歴史と文化の理解を通じた新しい東アジアをめざす ②未来に向けて、共生と和解の教育の発展をめざす
5. 参加費用 （財）日本中国国際教育交流協会会員特別料金 170,000円（予：羽田前泊を含む全行程）
6. 日程など詳しくは、本財団にお問合せください。

●協会ホームページの表紙写真が、第14次訪中団が授業交流した河北省易県塘湖小学校の子どもたちの写真に代わりました。

江田五月参議院議長を訪問



2月13日、協会が後援している「中国人による日本語作文コンクール」で最優秀賞を獲得した2名は、江田五月参議院議長を表敬訪問しました。江田議長はご自身の活動報告の中で

訪問の様子を次のように書かれています。『今日は、9時に議長室に入り、日中交流研究所の段躍中所长らが来られて、15分ほど懇談しました。紹介者は日中国際教育交流協会の山中正和さんと、徐蓓（草カンムリに倍）さんと張桐赫さんが主役です。「中国人による日本語作文コンクール」第1回日本大使賞として、学生の部で徐さんが、社会人の部で張さんが優勝者と決まり、日本に招待されました。ともに中国国内で流暢な日本語を身につけた若い女性の、これからの活躍を祈りました。』

中国宋慶齡基金会教育代表团

団長からの手紙

尊敬する生井栄一理事長殿

謹啓 中日平和友好条約締結 30周年にあたり、貴会の招請に応じ、私たちの代表团 5人は日本を訪問しました。貴会の皆様から熱烈な歓迎をいただき、訪問活動を順調に終え、ここに代表团全員を代表し、生井理事長をはじめ貴協会の先生方に感謝の意を表します。

貴会の皆様の行き届いたご心配と心を込めた接待のおかげで、今回の活動は所期の目的に達し、順調のうちに成功しました。東京では、第14次訪中団の皆様と再会させていただき、貴会の理事、評議員の皆様、また各県からの教職員組合委員長と歓談していただいたほか、文部科学省を表敬することを通し、日本教育の全体像を覗きました。天気に恵まれて美しい富士山を見ることができただけでなく、静岡県と愛知県では、小学生の授業に入り、日本小学校教育の現状を学習させていただきました。京都では、金閣寺や清水寺などの世界文化遺産を見学し、成果をいっぱい持って帰りました。短い6日間でしたが、日本の美しい自然環境や、高いレベルの管理とサービス、日本の民衆、特に貴会会員の皆様の真面目な仕事ぶりは深く印象に残りました。易県の先生たちは中国を出る前、今回のチャンスを大事にし、日本で一生懸命に勉強し、訪日の成果を実際の教育活動に活かすとともに、中日両国民衆の友好交流を促進することを一生の事業と目標として努力することを表しました。

中日両国人民世代々の友好のために、また私たち両会の事業をより一層発展させるために、貴会並びに諸先生方とともに協力させていただき、経済が立ち遅れている地域の文化教育事業の発展と、中日両国民衆の友好交流に、微力ながら尽力して参りたいと存じております。（以下略） 敬具

2008.11.26

中国宋慶齡基金会教育代表团

団長 李 曉峰